

## オガサワラハンミョウを飼育・移植（野生復帰）しています

兄島に生息しているオガサワラハンミョウは、近年急激に生息数が減少しているため、平成21年度から保護増殖事業を実施しています。

### 室内飼育と移植の状況

- ◆ 世界遺産センターの保護増殖室では、ハンミョウの室内飼育を行っているほか、生きた幼虫と成虫の展示もしています。
- ◆ 過去にハンミョウが生息していた兄島の裸地の環境を整備して飼育した個体の一部を放し移植を試みています。
- ◆ 今年は、9月中旬から10月上旬にかけて、約150個体の成虫の移植を目標にしています。



兄島でも  
がんばっています！

マーキングされ  
移植されたハンミョウ



遺産センター保護増殖室での  
飼育の様子



移植地の環境整備の様子

- ◆ また、11月頃には、村民のみなさまと観光客向けに飼育中のハンミョウの見学会を開催予定です。
- ◆ 今後も引き続き、オガサワラハンミョウを温かく見守ってください。

## オガグワの森プロジェクトをはじめました～返還50周年に向けて

小笠原村の基本理念「人と自然の共生する村づくり」のもと、小笠原の自然を身近に感じられる場と機会の創出を目的とした「オガグワの森プロジェクト（仮称）」を開始しました。

### オガグワの森プロジェクトの概要

- ◆ 父島の長谷ダムの上流の2つの沢に挟まれた村有地に、「オガサワラグワ」をシンボルとした森を村民参加・協働でつくっていきます。
- ◆ H29年度は、現況調査と森づくり実施計画について関係者と議論しながら作成を進めています。
- ◆ 8月にはオガグワの森予定地の生き物観察会&森づくり体験会を実施しました。
- ◆ 返還50周年を迎えるH30年度には、オガサワラグワの苗を植栽予定で、以降は村民参加の維持管理を検討しています。
- ◆ ぜひ末永く、森づくりにご参加ください。



対象地



対象地の様子  
(H29.6)



長谷ダム上流の沢の様子



石門のオガグワ

### ◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所  
Tel/Fax: 04998-2-7174/7175  
E-Mail: RO-OGASAWARA@env.go.jp

東京都小笠原支庁  
Tel/Fax: 04998-2-2167/2302

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター  
Tel/Fax: 04998-2-3403/2650

小笠原村環境課  
Tel/Fax: 04998-2-3111/3222

詳しい情報は下記のホームページをご覧ください。  
小笠原自然情報センターHP: <http://ogasawara-info.jp/>



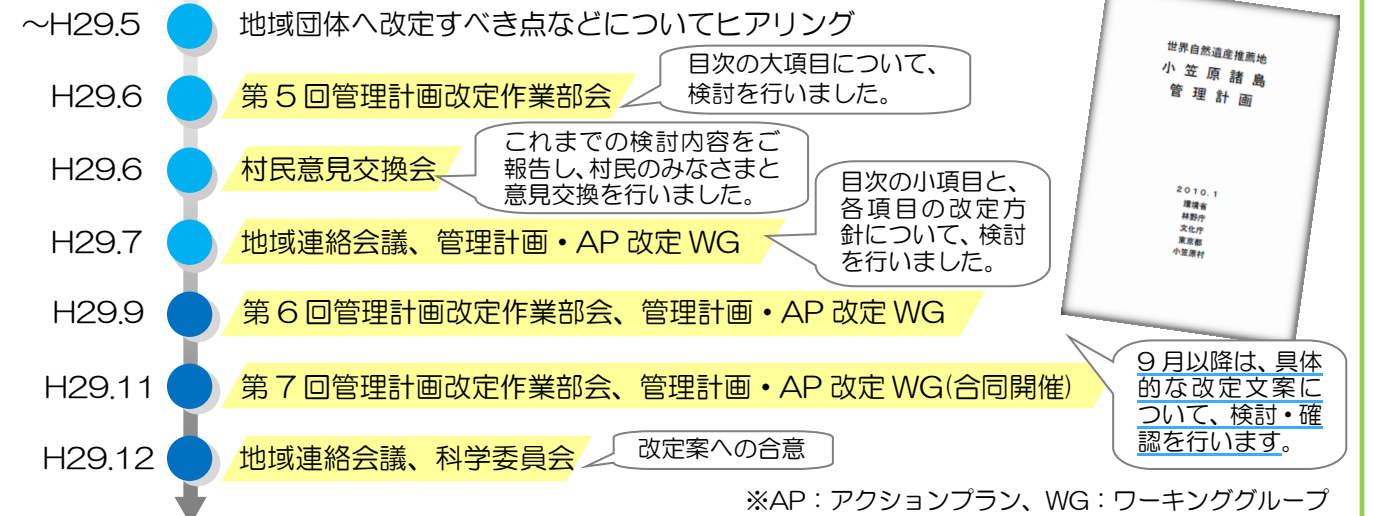
小笠原自然情報センターだより 第17号 2017年8月発行

小笠原諸島世界自然遺産地 地域連絡会議 事務局

## 世界遺産の管理計画の改定を進めています

小笠原諸島世界自然遺産の価値である自然環境は、中長期的な保全方針を示した「管理計画」に基づいて保全されています。現行の計画は遺産登録以前の平成22年（2010年）に作られたものであるため、新たに生じた課題や自然環境・社会環境の変化に応じ、計画の改定作業を行っています。

### H29年度の検討スケジュール



小笠原諸島世界自然遺産管理計画 改定版策定

## 小笠原諸島世界自然遺産の保全① ～外来種対策～

### 父島でヘビが発見されました～新たな外来種リスク

先日、父島二見漁港でアオダイショウが発見されました。本来、小笠原諸島には生息していない生物で、定着すれば在来の鳥類などに影響を与える恐れがあります。新たな外来種リスクへの対応は難しい課題ですが、継続して取り組む必要があります。

### 父島二見漁港でアオダイショウを捕獲

- ◆ 8月3日、二見港の漁港水揚げ場の電柱の陰でアオダイショウが発見されました。
- ◆ このアオダイショウの侵入経路については、分かっていません。
- ◆ 発見された個体は遺産センターで保管しています。
- ◆ 無毒のため、人への影響は心配ありませんが、ヘビは鳥類の卵などが好物のため、万が一一定着してしまうと、アカガシラカラスバトなどの大きな脅威となります。

体長約49cm  
で幼体とみられます。



捕獲された  
アオダイショウ

### 見られない生き物を見つけたら…

- ◆ 新たな外来種対策は、入れない対策とともに早期発見が最重要です。
  - ◆ 見知らぬ生き物、小笠原に棲んでいるはずのない生き物等を見つけたら、小笠原世界遺産センター(Tel: 2-7174)へご相談ください。
- ※ 先日は、内地から流通した「小松菜」に外来マイマイ(コハクオナジマイマイ)が付着していました。定着すると、固有のマイマイなどへ影響を与える可能性があります。



小松菜に付着した  
マイマイ



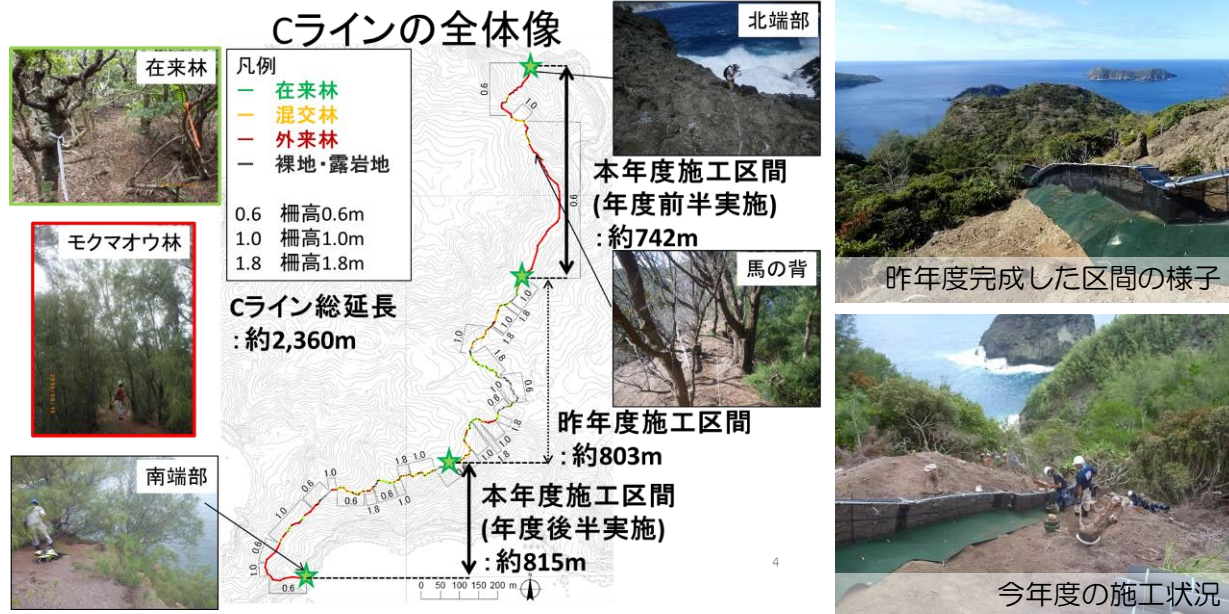
## 兄島のグリーンアノール侵入防止柵の設置を進めています

小笠原支庁では、兄島の北西部に全長約2.4kmのグリーンアノール侵入防止柵(通称:Cライン)の設置工事を昨年度から進めています。

Cライン設置の目的は、兄島北西部の訪花性昆虫と虫媒植物との良好な送粉関係を守るため、また、弟島へのアノールの侵入を防ぐために設置するものです。

### 今年度の工事内容

- ◆ 昨年度は中央部の約803mに柵を設置しました。
- ◆ 今年度も引き続き工事を実施しており、今年度前半に北側の約742mを、後半に南側の約815mを設置し、年度末には全線完成する予定です。



## 父島・母島でネコ対策を継続しています

小笠原諸島でのネコ対策は平成8年、「ハハジマメグロがネコに襲われている」との声を受け、野良ネコに不妊・去勢手術等を施し再び放す村の「小笠原野ネコ対策事業」が始まりました。

以降、父島・母島の集落と山域で様々な取組みを実施し、着実に成果が確認されています。

### これまでのあゆみと成果

- ◆ 平成8年以降、飼いネコの登録・適正飼養等を定めた「小笠原村飼いネコ適正飼養条例」の制定や東京都獣医師会による動物派遣診療、山域のネコ捕獲と内地搬送等、集落と山域両面からネコ対策を行ってきました。
- ◆ これまでに約600頭のネコが内地へ搬送され、その成果として、アカガシラカラスバト等の個体数が着実に回復しています。
- ◆ 近年、母島の南崎半島部でカツオドリの生息地が回復し、営巣と繁殖が確認されています。
- ◆ 今後も集落と山域でのネコ対策を継続して行ってまいります。



## 小笠原諸島世界自然遺産の保全② ～希少種保全～

### 動物対処室のオープンから4ヶ月

動物対処室は、今年5月に供用開始した「小笠原世界遺産センター」内に設けられています。野生動物の保護、飼い主のいないネコ対策、ペットの適正飼養の推進を目的として運営しており、動物派遣診療の担っていた役割も引き継いでいます。

### これまでの対応

- ◆ 4月～7月までに、野生動物11個体、山域で捕獲されたネコ3個体を診察・治療しました。
- ◆ オガサワラオオコウモリや海鳥等、野生復帰に成功した個体もいます。
- ◆ ペットについては、父島でのべ200件近くの診療を行った他、6月には母島動物巡回診療を実施しました。
- ◆ 今後は、動物の診療だけでなく、学校での出前授業や村民のみなさま向けの普及啓発事業等も進めてまいります。



## 兄島での殺鼠剤空中散布後の経過観察をしています

兄島の固有陸産貝類(カタツムリ)へのネズミ食害を防止するため、昨年8月に、兄島、人丸島、瓢箪島にて殺鼠剤(ネズミを駆除する薬)の空中散布を行ったほか、西島に殺鼠剤を入れたえさ箱(ベイトステーション)の設置を行いました。

空中散布から1年が経過した現在のネズミ類生息状況と陸産貝類の状況をご報告します。

### 兄島等におけるネズミ類と陸産貝類の生息状況モニタリング結果

- ◆ 兄島・人丸島・瓢箪島・西島にセンサーカメラを設置し、ネズミ駆除効果モニタリングを行っています。今年6～8月には兄島、瓢箪島、西島に設置したカメラにネズミの撮影がありました。また、兄島では7月にネズミの死体1個体が発見されています。

- ◆ 現状ではネズミが広く薄く生息している状況のようです。

モニタリング結果(H29.8.21時点)

	兄島	人丸島	瓢箪島	西島
カメラ設置台数	64	2	2	6
カメラでのネズミ確認	7/24撮影	なし	7/2撮影	6～8月撮影
備考	7月BSで死体確認			

- ◆ 4ヶ月毎に兄島の陸産貝類のモニタリングを実施しています。全体としては大きな変化は見られていませんが、場所によっては陸産貝類の密度が増えてきています。

### 今後の対策

- ◆ 現在、西島、兄島、人丸島、瓢箪島にて計1180基程のベイトステーション(BS)を稼働し、月1回程度の点検により殺鼠剤の補充作業とネズミ痕跡確認作業を行っています。



## あかぼっぽが集落にきています

ネコ対策等の成果もあり、アカガシラカラスバト(あかぼっぽ)の目撃件数は年々増えています。

数が増えるにしたがって、あかぼっぽやくろぼっぽ(幼鳥)の交通事故やバードストライク被害等が危惧されています。

### あかぼっぽ・くろぼっぽに優しくらし

- ◆ 車や窓ガラスとの衝突、ネコとの遭遇等、あかぼっぽたちにとって集落は危険で溢れています。



- ◆ 思いやり運転を心掛ける、窓に衝突防止用シールを貼る、ネコは家の中で飼育する等、あかぼっぽ・くろぼっぽのために身の回りでも出来ることがあります。
- ◆ ご理解とご協力をお願いいたします。